

Ⅲ 歴史館の事例

1 市立博物館

市立博物館の事例

博物館名称	所在地	構造	階数	延床面積
安城市歴史博物館	愛知県安城市安城町城堀 30 番地	鉄骨鉄筋コンクリート造	3階建	4,851.69 m ²
田原市博物館	愛知県田原市田原町巴江 11-1	鉄筋コンクリート造	平屋建	2,033 m ²
高槻市今城塚古代歴史館	大阪府高槻市郡家新町 48 番 8 号	鉄骨鉄筋コンクリート造	2階建	3,956 m ²
静岡市立登呂博物館	静岡市駿河区登呂五丁目 10 番 5 号	鉄骨鉄筋コンクリート造	2階建	2,400 m ²

□安城市歴史博物館

安祥城址の一角にあり、安城市を中心に矢作川流域における政治や経済、文化などの歴史が楽しく学べる博物館として平成3年2月に開館した。2階の常設展示室では、原始から現代までを10のテーマで紹介し、この地域の歴史と文化が時代ごとに展望できる。1階企画展示室では、年3回、地域に根ざしたテーマで企画展を開催。常設展示や企画展示のほか、ミュージアムコンサート、体験講座、講演会、名画鑑賞会なども開催され、歴史と文化の生涯学習の場となっている。



安城市歴史博物館
(安城市 HP より)

□田原市博物館

江戸時代の画家で田原藩の家老であった渡辺崋山に関連する作品や資料を展示する博物館で、平成5年4月、田原城二ノ丸跡に開館した。

収蔵品には国の重要文化財に一括指定されている渡辺崋山関係資料（紙本著色一掃百態図1冊、渡辺崋山印22顆など32点）など崋山に関する貴重な作品や資料のほか、崋山の師であった谷文晁の作品や弟子の作品など崋山にゆかりのある人物の作品も多数収蔵している。

また、分館に田原市民俗資料館及び田原市渥美郷土資料館がある。



田原市博物館
(田原市 HP より)

□高槻市今城塚古代歴史館

今城塚古墳が平成 16 年から史跡公園として整備され、10 年にわたる発掘の成果や古墳時代の歴史を学び、歴史文化の体験学習もできる、古代体験ミュージアムとして平成 23 年 4 月に開館した。

施設としては、玄関ホール、常設展示室、企画展示室、体験学習室、映像研修室、はにたん観光情報コーナーがある。

年 3～4 回の企画展では外部講師による講座、また、発掘調査に携わる学芸員による学芸員講座が定期的実施されている。

なお、古墳公園と歴史館の 2 つを総称して「高槻市立いましろ大王の杜（だいおうのもり）」と名付けられ、古墳公園では、水と芝生で古墳を囲い、実物大に復元された埴輪が約 200 点並んでいる。



高槻市今城塚古代歴史館
(高槻市 HP より)

□静岡市立登呂博物館

国指定特別史跡登呂遺跡に隣接する、縄文時代から弥生時代、近代までの農業や生活を伝える博物館。平成 22 年 10 月 3 日にリニューアルオープンした。

展示室としては、1 階の無料ゾーンに「弥生体験展示室」、2 階の有料ゾーンに「常設展示室」と「特別・企画展示室」がある。

弥生体験展示室では、住居、高床倉庫、祭殿といった復元した建物や水田で、弥生時代の登呂ムラの生活情景を“ミニ登呂”として再現している。その中の登呂のムラ人として、土器などのモノづくり、田植え、稲刈り、脱穀、火起こしなど体験できる。

常設展示室では、登呂遺跡から発掘された出土遺物の展示を中心とし、「登呂ムラと稲作」と「登呂遺跡の記憶（登呂遺跡の歴史）」を主なテーマに展示している。

特別・企画展示室では、季節ごとの展示を行っている。

なお、遺跡内には博物館の外に、住居などの建物と水田が復元されている。遺跡は平成 11 年度から 5 か年計画で行われた再発掘調査の成果をもとに平成 18 年度から再整備工事を行い、平成 24 年度リニューアル・オープンした。

博物館での展示、体験と遺跡の 3 つの方向から弥生時代を体験することができる。



静岡市立登呂博物館
(静岡県 観光 my 旅しずおか HP より)

2 県立博物館（今後開館予定及び近年開設したもの）

県立博物館の事例

博物館名称	所在地	開館年月日	構造	階数	延床面積
三重県総合博物館	津市	H26. 4. 19 開館予定	鉄筋コンクリート造	3階建	10,779 m ²
沖縄県立博物館・美術館	那覇市	H19. 11. 1	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造	地上4階、地下1階、塔屋1階	23,602 m ²
島根県立古代出雲歴史博物館	出雲市	H19. 3. 10	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造	地上3階、地下1階	11,854.80 m ²
長崎歴史文化博物館	長崎市	H17. 11. 3	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造	3階建	13,309 m ²
山梨県立博物館	笛吹市	H17. 10. 15	鉄筋コンクリート造	平屋建	8,760.89 m ²

□三重県総合博物館

平成23年1月から平成26年の完成を目指して、三重県総合文化センターの隣接地に県立博物館の建設が進められている。新博物館の愛称は一般公募1,061件から「MieMu（みえむ）」が選ばれ、イメージカラーはオレンジになる。

博物館の使命として、以下の3つを掲げている。

<博物館の使命>

- ①三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承し、次代へ生かす博物館
- ②学びと交流を通じて人づくりに貢献する博物館
- ③地域への愛着と誇りを育み、地域づくりに貢献する博物館

この使命を果たすための活動理念は、「ともに考え、活動し、成長する博物館」としている。

県民・利用者との「協創」（ともに活動し新たな創造を生み出す姿勢を示す造語）と多様な主体との「連携」という2つの視点により、基本的な活動である調査研究活動、収集保存活動、活用発信活動（「交流創造」と「展示」の活動）を展開していこうとしている。

このため、施設の中核に「交流創造エリア」と呼ばれる県民・利用者の活動・交流のための空間（学習交流スペース、子ども体験展示室、資料閲覧室、実験実習室など）を置くこととしている。

また、「展示エリア」は、三重の多様で豊かな自然と歴史・文化の魅力を紹介する「基本展示」と複数のテーマによる大きささまざまな展示の組み合わせで展開する「テーマ展示」の2つの展示を互いに関連づけながら展開することで、三重の特色である「多様性」を探求し、県内外に発信することとしている。



三重県総合博物館
（三重県立博物館 HP より）

□沖縄県立博物館・美術館

博物館機能と美術館機能を併せ持つ県内初の複合文化施設として開館。博物館施設としては前身である沖縄県立博物館の2倍の広さを持っている。

<博物館の性格>

- ①県民の多種多様なニーズに対応するため、総合博物館として沖縄の自然史、考古、歴史、民俗及び美術工芸などの調査研究、収集、保存、展示を行う。
- ②国際化時代に対応し、沖縄の自然・歴史・文化に深い関わりのあるアジア・太平洋地域の資料を調査研究、収集、保存、展示するとともに文化交流の場及び研究機関の役割を果たしていく。
- ③情報化時代における県民のニーズに応えるために、情報センターを設置し、当館及びその他の博物館の情報を県民に提供するとともに、県内博物館のネットワークの中核となる博物館の役割を担う。
- ④生涯学習時代に対応し、子ども、高齢者、身障者が安心して利用できるやさしい博物館とするとともに親しめる博物館づくりを目指し、県民の自発的な学習の場として利用できる博物館にするとともに、学校のカリキュラムと連動した展示や教育普及活動を行っていく。



沖縄県立博物館・美術館

(一般財団法人 沖縄観光コンベンション
ビューローHP より)

□島根県立古代出雲歴史博物館

出雲大社の東隣に開館。主に、出雲大社を中心とした古代出雲についての展示を行っており、荒神谷遺跡より出土した国宝を含む銅剣 358 本・銅鐸 6 個・銅矛 16 本、加茂岩倉遺跡より出土した国宝の銅鐸 39 個が公開されている。古代出雲以外では石見銀山など旧石見国も含めた島根県全体の歴史についての展示がある。中央ロビーには平成12年に、出雲大社境内から出土した宇豆柱が展示されている。敷地内には「風土記の庭」や体験用の水田、工房が設置されている。総工費:68 億円。



島根県立古代出雲歴史博物館

(公益社団法人 島根県観光連盟 HP より)

□長崎歴史文化博物館

長崎県と長崎市が行政の垣根を越え予算と収蔵品を出し合い設置。管理・運営は、指定管理者制度により、民間企業が行っている。館のメインテーマは「近世長崎の海外交流史」であるが、民間企業が運営していることもあり、さまざまなジャンルの企画展や集客イベントを積極的に行っている。

歴史文化展示ゾーン、長崎奉行所ゾーン、長崎歴史情報コーナー、伝統工芸体験工房、資料閲覧室、ショップ、レストランがある。その他の施設として、企画展示室、イベントの間、イベント広場、ホールがある。

長崎奉行所立山役所の御白洲では、土、日、祝日に20分ほどの寸劇が行われ、当時の裁判の様子を再現している。寸劇終了後は記念撮影時間が設けてある。寸劇は、県内の大学生や県民が寸劇ボランティアとして参加している。



長崎歴史文化博物館

(一般社団法人 長崎県観光連盟 HP より)

□山梨県立博物館

基本テーマは「山梨の自然と人」であり、自然系展示と歴史系展示を分けずに展示や資料の収集、調査研究活動、社会教育活動を行っている。常設展示は原始時代から現代という時系列に沿った展示であるが「水に取り組む」、「信仰の足跡」といったテーマを設定した展示になっている。

<博物館の性格>

①歴史に重点をおいた博物館

豊かで多様な自然に育まれた、山梨の風土と歴史への理解を深める博物館

②参加体験・交流型博物館

あらゆる人々が、さまざまな博物館活動に参加し、出会い、楽しみながら学ぶことができる「人・モノ・情報」が交流する博物館

③ハブ博物館

県内各地の自然・文化遺産や、文化施設と結びつきながら、地域の文化振興と活性化をもたらすネットワーク博物館

④成長する博物館

利用者ニーズの変化や調査・研究の進展に応じて事業・活動などが成長していく博物館



山梨県立博物館

(公益社団法人 やまなし観光推進機構 HP より)

3 学校跡地を利用した博物館

□小学校の校舎を利用した「京都市学校歴史博物館」

明治2年（1869）、全国に先駆けて日本最初の学区制小学校である番組小学校を64校で創設した京都の学校教育の歴史を展示した博物館で、平成10年11月に開館した。建物は、統廃合で閉校になった番組小学校のひとつである元開智小学校の校舎を利用している。

展示室はもともと体育館であったところを大幅に改修し、エレベーターを新設している。外観は最小限の改修にとどめ、旧校舎の面影を残している。展示室、事務室以外の講堂やその他の教室などは、状況に応じて学校歴史博物館と開智学区民とがお互いに共有するというかたちをとっている。以前からあった敷地の南側に隣接する開智幼稚園は残り、さらに、グラウンドや講堂、会議室なども、地域住民が利用できるかたちで残っており、地域の行事（夏祭り、運動会など）、地域の集まる場所として多数利用されている。



京都市学校歴史博物館
(京都市 HP より)

□小学校の跡地に天体望遠鏡の博物館

さぬき市は平成24年3月末閉校の旧多和小学校跡地（香川県さぬき市多和助光東）に天体望遠鏡の博物館を核とした複合施設を整備する構想を明らかにした。

建物は、校舎など学校施設をそのまま活用する。平成25年度中に耐震診断を終える予定で、改修などに掛かる事業費は、1億円程度を見込んでいる。完成後の運営は、市長、天文愛好家らでつくる一般社団法人「天体望遠鏡博物館」と、地元住民グループ「結願（けちがん）の里多和の会」の両団体への管理委託を軸に今後協議を進める。



旧多和小学校
(一般社団法人 天体望遠鏡博物館 HP より)